

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 40

事務事業名	消防防災設備整備事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市長公室		
課名	安全対策課		
課長名	田中 勝保	内線	216
担当者名	吉岡 真実	内線	217

基本目標		安全・安心なまち
政策	030201	消防・救急体制の充実
施策		消防・救急体制の充実
関連施策		

会計	一般会計		
款	9	消防費	
項	1	消防費	
目	3	常備消防費	
事業コード	040000		

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	消防車両、小型ポンプ等の消防設備		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	消防団が保有する消防設備の環境を整えることによって、迅速かつ効果的な消火・防災活動が行える。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	消防車両(ポンプ車・積載車等)・小型ポンプ等の購入更新により消防設備を整備する。 平成28年8月31日現在消防団保有設備(ポンプ車:15台 積載車:13台 小型ポンプ:21台)		
意図を達成するために実施することは何か	【平成28年度計画】 ・11分団消防ポンプ車、13分団、14分団小型ポンプの更新		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法
根拠法令、要綱等	消防組織法		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 消防車両総数	計画値	28	28	28	28	
		実績値	28	28	28		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標	② 小型ポンプ総数	計画値	21	21	21	21	
		実績値	21	21	21		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	① 消防車両更新数	計画値	1	1	1	1	
		実績値	2	1	1		
		達成度	200.0%	100.0%	100.0%		
	② 小型ポンプ更新数	計画値	1	1	1	2	
		実績値	1	1	0		
		達成度	100.0%	100.0%	0.0%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	21,333	18,957	27,814	25,461	48,024	28,502	19,801	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債	9,200	12,700	11,300	12,200	28,500	11,400	7,900	
その他	5,373		12,368	8,689	9,766	12,543	8,689	
一般財源	6,760	6,257	4,146	4,572	9,758	4,559	3,212	
② 人件費(千円)	1,192	1,134	705	757	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	ポンプ車2台、小型ポンプ3台	ポンプ車1台、積載車1台、指令車1台	ポンプ車1台	
時間外勤務(時間)				15				
嘱託等人数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00				
フルコスト(①+②千円)	22,525	20,091	28,519	26,218				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	消防設備整備計画に基づき老朽化した消防車両の購入更新を行っており、平成27年度は6分団タンク車の購入更新を行った。
事業が抱える問題・課題等	消防車両や小型ポンプの老朽化

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	災害発生時の迅速かつ適正な出動体制を築くためには、消防車両等の更新は必要であり、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	消防団・市民の要望を踏まえ年次計画に基づき、施設の充実、消防水利の整備を実施していく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。